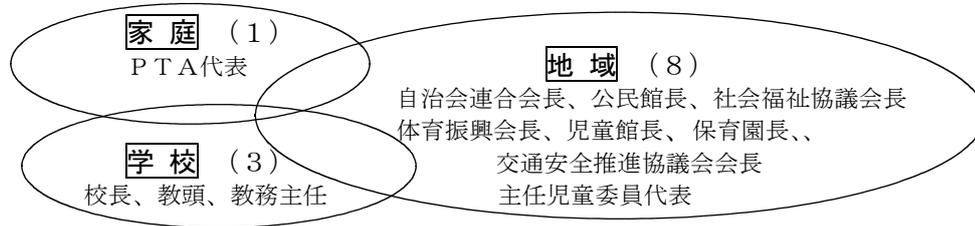


令和元年度福井型コミュニティ・スクール実施報告書

福井市西藤島小学校

1. 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



地域コーディネーター (3名)

・ 西藤島自治会連合会長 ・ 西藤島公民館長 ・ 西藤島社会福祉協議会会長

(2) 協議会の内容

※開催回数と日程

年間3回 (6/19、12/13、2/14)

※協議内容

学校の教育方針、児童・学校環境の視察結果より、地域の学校としての課題や取組について話し合う。学校評価のあり方とその結果の分析、次年度の取組についても話し合う。

(3) 協議会における成果と課題

福井市連合音楽会の校内発表参観や授業参観などをおして、児童の成長ぶりに高い評価をいただき、本校の教育方針に理解を得られたと考える。今後も保護者・地域に信頼される魅力ある学校の創造を目指して、提言を真摯に受け止め、教育活動の活性化に取り組んでいきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・ 西藤島地区の宝 (自然・名所・産業等) について、児童が、主体的に調べる活動を通して、西藤島地区のよさや課題を見いだす。
- ・ 西藤島地区の行事に積極的に参加して、西藤島地区を愛し、受け継ぐ者としての実践力を高める。

(2) 活動の実際

地域の産業体験 (6年生)

6年生は、西藤島地区の産業に関心を持ち、そこで働く様々な人たちについて調査・体験学習を行うことによって、自分たちの地区の素晴らしさを再認識する活動を行った。体験先は、児童の興味・関心に基づいて、話し合い活動によって決定された。当日、牧場では牛の餌やりや搾乳、クリーニング店ではアイロンがけなど、たくさん体験を通して、「働くこと」についての理解を深めるとともに、地区への愛着の気持ちを高めることができた。



【牛の搾乳体験】

(3) 地域コーディネーターの活動概要

各学年の調査・体験活動に対して、体験活動の依頼先や講師の人選に対してアドバイスをいただいた。また、小学生が参画した地区文化祭における、地区諸団体との連絡調整をしていただいた。

(4) 特に工夫した事項

本地区は、在来の農業地区と新興の商業地区が混在している。その中には、大規模農家や、警察紋章の国内シェア第一位を誇る企業、自動車工場などが見られ、体験先や講師に恵まれている。そこでより効率良く調査・体験学習を進められるように、各学年の学習テーマに沿った体験先や講師を精選した。

(5) 成果と課題

地域とのつながりの大切さを体験活動から学べたと同時に、地域から学んだことを核にした学習へと広がりが見られたことは大きな成果である。本年度の実績をふまえて活動内容をさらに精選し、次年度は発信・提言力の育成ができるよう、しっかりと準備していきたい。

